

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）

- A：十分達成できている
- B：おおむね達成できている
- C：やや不十分である
- D：不十分である

学校名	唐津市立海青中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・自主的な生徒会活動が活発になったことや、全職員が共通理解し、組織的な生徒指導の実践、開発的な生徒指導を行ったことで、問題行動は減少したが、生徒間トラブル、不登校生徒への対応等、課題は多い。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による行事等の削減により、昨年度は小中連携としての研修が不十分であった。そのため、9年間をスパンとした学力向上に向けての具体的取組が充分だったとは言えない。また、人権教育についても小中連携、家庭や地域と連携した取組にさらに力を入れる必要があると考える。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	「感謝の心を持ち、自主・自立に向かう生徒の育成」～みんなが楽しい学校に～
----------	--------------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>①授業改善を図り、自ら学ぶ生徒の育成 ②自分から挨拶ができる生徒の育成</p> <p>③安心して、学び生活できる集団を作る生徒の育成</p> <p>④ボランティア精神にあふれた生徒の育成 ⑤部活動の活性化</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							・教務主任 ・学力向上対策コーディネーター	
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)									
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校行事、生徒会活動、係活動等に積極的に取り組んでいると答える生徒の割合を70%以上にする。	・定期的にGWTやエンカウンター、アサーションを取り入れ、互いを認め合う授業に取り組む。 ・生徒・教師・保護者による挨拶運動を実施する。 ・ボランティア活動を活性化させる。							・研究主任 ・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・各学年主任	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校が楽しいと答える生徒の割合を80%以上にする。	・年2回のhyper-QUの実施の分析・考察を行う。 ・いじめアンケートや心の健康アンケート、日記・学活ノートを通して、早期発見や早期対応を適切に行う。								・生徒指導主事 ・各学年主任
	◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動の推進	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をする生徒を70%以上にする。	・全ての教科や学校行事を通してキャリア教育を充実させ、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。								
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上	・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを多くの場面で意識させ、自己の健康管理に活かせるようにする。							・食育担当教員 ・家庭科担当教員 ・養護教諭	
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)									
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日の定時退勤日の設定。 ・週二日の部活動休養日の設定。 ・学校閉庁日(8/13～8/15)の設定。							・管理職	
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)									

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組				中間評価		最終評価				主な担当者
重点取組内容			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○生徒指導・教育相談の確立	○生徒指導の重点指導方針を活かした自己指導力の育成	○自分のことが好きだと答える生徒の割合を70%以上にする。	・生徒会と連携し、生徒の主體的な活動を位置づける。 ・学校教育目標を意識し、「みんなが楽しいとは？」ということを生徒に問いながら、全職員で、生徒同士、生徒と教師が繋がり、互いに尊重し合う態度を育成する。							・生徒指導主事 ・教育相談主任 ・生徒会担当教員
	○個に応じた支援の推進	○先生に困ったことや悩みを相談できると答える生徒の割合を75%以上にする。								
○保護者・地域に信頼される学校づくり	○学校安全管理に基づく危機管理体制の整備	○災害発生時に対応できる実践的な避難訓練を定期的に行う。	・原子力防災、火災、地震、不審者対応等の避難訓練の実施。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえながら、保護者や地域の方々に参加しやすい学校行事を工夫する。							・管理職 ・安全教育担当教員 ・情報教育担当教員
	○学校公開と情報提供の推進	○学校教育目標の周知率を90%以上にする。 ○携帯掲示板のアクセス数を100以上にする。	・通時、携帯掲示板を活用し、情報を発信する。							
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------